

ウェルネスバレーワンストップ窓口事業から介護用ポータブルトイレに関する実証を開始！

ウェルネスバレー関係機関と企業との共同研究や実証事業を支援するワンストップ窓口事業から、介護用ポータブルトイレに関する実証のため、ウェルネスバレー関係機関である介護老人保健施設 相生とのマッチングを実現させました。

■介護用ポータブルトイレの概要

経緯／安城市の電気設備工事会社（ワコー電気株式会社）発のスタートアップ「株式会社ニコラス」から、介護用ポータブルトイレに関する実証実施のため、共同実証に協力可能な介護施設紹介の相談がありました。そこで、ウェルネスバレーの介護施設に照会したところ、介護老人保健施設 相生から参加の意向があり、実証事業を開始することとなりました。

事業内容／株式会社ニコラスは介護用ポータブルトイレの悩みを解決する泡スプレー事業を展開しています。本実証事業では介護施設の協力のもと、ポータブルトイレにおける「①便の臭い」、「②交換時の水の飛び跳ね」の有効性に関するデータ取得を行い、関連事業のサービス開発に取り組みます。

実証期間／令和5年2月1日（水）～約1か月間

実施企業／株式会社ニコラス（名古屋市中村区名駅1丁目1番1号 JPタワー名古屋 21階）

事業内容：各種商品の企画、開発、販売及び輸出入等

ウェブサイト：<https://nicolas.co.jp/>

実証先施設／介護老人保健施設 相生（東浦町大字緒川字東米田 16番地）

本市の役割／実証に先立つ企業、施設間における複数回にわたるミーティングのアレンジ及び参加、普及啓発 等

■ワンストップ窓口事業の概要

ヘルスケア関連企業等より実証先の相談があった場合、ウェルネスバレー関係機関をワンストップ窓口で繋ぐ事業です。国立長寿医療研究センター健康長寿支援ロボットセンター（厚労省「介護ロボットの開発・実証・普及のプラットフォーム事業」リビングラボ[※]）とあいちサービスロボット実用化支援センターと連携して事業を推進しています。

※ ウェブサイト：<https://www.kaigo-pf.com/livinglab/info.html>